

審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	令和6年度 第1回甲州市環境審議会
開催日時	令和6年10月2日(水) 午後2時～午後3時
開催場所	甲州市役所 2階 第1会議室
議題	① 令和6年度上半期の取組みについて ② 啓発活動について ③ 甲州市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)について ④ その他
出席委員	内田 智之 委員、瀧澤 康雄 委員、 藤巻 眞史 委員、萱原 春美 委員、 望月 信 委員、山下 宏 委員
会議の公開又は 非公開の区分	公開
会議を一部公開 又は非公開と した場合の理由	
傍聴人の数	0人
審議概要	別紙のとおり
事務局に係る 事項	環境課 4名 (坂本課長、森リーダー、中村リーダー、中村)
その他	

令和6年度 第1回甲州市環境審議会 審議概要（開催日：令和6年10月2日）

<p>内容</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付</p> <p>3. 会長・副会長 選出</p> <p>4. 議題 (1)令和6年度上半 期の取組みについて</p> <p>(2)啓発活動につ いて</p>	<p>次第に基づき以下のとおり進められた。</p> <p>事務局開会（14：00）</p> <p>委嘱状交付</p> <p>会長に内田 智之 委員、副会長に瀧澤 康雄 委員が 全会一致で選出された。</p> <p>議長：会長 ○事務局 令和6年度上半期の取組みについて説明</p> <p>質疑 ○委員 生ごみ処理機の昨年度対比の増減について。目標値がわかるようなデー タを資料に入れていただきたい。</p> <p>○事務局 令和5年度の生ゴミ処理機が18件、処理容器が20件、トータルで38 件。令和6年9月11日現在の生ごみ処理機が23件、処理容器で9件、ト ータルが32件で、全体として増加傾向となっている。目標値については、 ある程度見通しを考慮した中で、予算も含め検討していきたい。</p> <p>○会長 小水力発電を作る場合、事業負担は、その会社となるのか。</p> <p>○事務局 事業者負担となる。県有林の中で工事を進めていく事業であるが、FIT 申請時に市と事業者の協定等が条件になるため、今後協議していく。</p> <p>○委員 生ごみ処理機の補助金を出すときに1年間はモニター調査に協力して もらうことを付け加えられないか。ゼロカーボンに向けたごみの減量と いうようなことが見えるようになると思う。</p> <p>○事務局 ゼロカーボンといった場合に、生ごみ処理機等の活用を推奨して、ご みを減らしていくということが最終目標になる。その数字を細かく出 すことはできないが、今までの実績等を踏まえて数字を出していくと ころも検討していきたい。</p> <p>○事務局 啓発活動について説明</p> <p>質疑</p>
--	---

○委員

どこの地区でも問題となるが、リサイクルステーションの管理分別ができていなかったり、粗大ごみが投棄されたりする状況を多く見ている。環境美化、リサイクル等皆さん一生懸命頑張っていただいている。PRを引き続きお願いをしたい。

○会長

そういった現実を踏まえ、啓発活動をぜひお願いしたい。

○委員

ごみの分別ができない行政の情報伝達ルートから外れている人たち、特に市外の方や外国人の方には、ゴミの出し方のルールについて、雇用者や不動産会社が責任持って伝える方法を検討していただきたい。

○事務局

転入される方については、ゴミのルールというのは転入の際窓口でパンフレットを配布している。外国人の方については、ベトナム語、中国語、英語の3カ国語の分別の出し方パンフレットを作成している。近所の方が面倒を見てくれているとか、丁寧なところは先ほどご指摘いただいた雇用主の方がよく見てくれているところもある。協力をより一層いただくような形で働きかけをしながら、また不動産会社とも相談をする中で、どのように徹底が図られるか検討していきたい。

○会長

出前授業は各小学校4年生ということで、全部学校がやっていないが、どの学校が対象か。

○事務局

例年4月の校長会の際に市の出前事業の申し込みについてアナウンスをさせていただき、申し込みがあった学校で実施している。

○会長

基本的な市民としてのルールなので、なるべく多くの学校で受けられるようお願いしたい。

○委員

小学校でみんな関心を持ってきて、これを家庭にうまく持ち帰るようにしてもらうことも大事。大人向けに、区長会で分別講習会とか希望があるところへ、我々が一緒に説明へ伺っても差し支えない。

○事務局

出前講座のメニューがかなり多くなっており、先ほど実績としては今年1団体、一般の方についてはあまり実績がないというのが実情なので、その周知の仕方を考えていければと思う。また学校の出前講座の中で家に帰ってその重要性を伝えることと、やはり子供が率先して分別をすることで、それを見た親御さんがかなり意識をしていただけるというような事例の報告等がある。先ほど会長の話のとおり、多くの学校にできるだけやっていただくことも引き続き進めていく中で、年度が変わってすぐの段階で学校へ情報のリリースを、年度が変わる前の年初1月2月ぐらいに早めにした方が対応しやすいということもアンケートの状況としていただいているので、来年は学習カリキュラムの中に取り込んでいただけるようにしたいと考えている。

○事務局

甲州市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について説明

<p>(3) 甲州市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について</p>	<p>質疑</p> <p>○委員 公共施設の照明のLED化について、いわゆる市の直営でなく、区に管理を任せている例えば上東の育心寮では既にLED化済みであるが、市の計画の中でやってもらいたかったと思う。</p> <p>○事務局 公共施設のLED化については、施設更新を進めるタイミングを見ながら省電力化に取り組んでいる。どの施設をいつやるというところまでの計画ができていないのでご理解いただきたい。</p> <p>○委員 蛍光灯が壊れないとやらないということになってしまうと、多分2050年までにやらない可能性もある。計画的にやっていただきたい。</p> <p>○事務局 目標を見ながら更新が必要であれば進めていくという考え方である。ここでどの施設をいつまでにやるかということまでは、今決定をしてないのでお答えができない状況。当然計画的には進めていく。</p> <p>○会長 今後もさらに削減ができるような取り組みをお願いしたい。</p>
<p>(4) その他</p>	<p>今後の予定等について事務連絡（事務局）</p>
<p>5. その他</p>	<p>○委員 アメリカシロヒトリの大発生が問題になっており、特に今年は深刻。この害虫は様々な樹木を食い尽くし、景観や生活環境に悪影響を及ぼしている。土地の所有者には対策を講じる責任があるという原則はわかるが、関心が薄れている人も多く、噴霧器や薬の補助など市役所での過去の取り組みが忘れられている。個人だけでは対策が難しいため、行政が公的資金を使って対策を行う必要もある。地域全体で協力し、対応を検討いただきたい。</p> <p>○会長 確かに今年のアメリカシロヒトリがすごく、大きな木も驚くほど緑がなくなっている状況。街路樹によって熱中症を防げるというふうな取り組みがあり、街路樹が少なくなってきたアメシロが発生すると環境にも関わる問題でもある。アメリカオニアザミ外来種の消毒を市で駆除したことがあったが、それと同じような対応も大事なことだと思うがいかがか。</p> <p>○事務局 毎日のようにアメリカシロヒトリが発生してどうにかならないかという相談を受けている。現状は駆除業者を紹介している。過去には畑を消毒するために消毒薬を補助したという話は承知している。委員のご意見については検討していく。</p>
<p>6. 閉会</p>	<p>副会長（15：00）</p>